



「放射能時代の食料問題  
そして危機をチャンスに食と農を自由貿易化・大規模企業化しようとする  
T P Pなどの動きについて」



農地が放射能汚染されても、人命より経済性と原発温存を重視した基準により汚染食品を流通している日本。一方、この大ショックをチャンスにとらえ、T P Pを筆頭によりいっそうの自由貿易化とアグリビジネス化を進める国内外の動き。食と農への関心が高まる今こそ、食の自立を見直し、小さき 農民たちの運動を支えるべきだろう。

持続可能な食とエネルギーに取り組んできた平賀緑が、放射能汚染の実態から内部被ばくについて、汚染食品をさらなる「安全神話」のもとに子どもにまで食べさせる動き、そして 120 億人を養える世界で 10 億人が飢え 10 億人が肥満に苦しみ、多くの農民が職を失い、多くの消費者が不健康に悩む、今日のフードシステムについてお話しします。

■日時：2011年7月30日（土）午後6時～9時

■場所：ひと・まち交流館 京都 和室 A・B  
(アクセス・交通)

<http://www.hitomachi-kyoto.jp/access.html>

■資料代：500円

■話し手：平賀 緑 (ひらが みどり) さん

京都・丹波の手づくり企画「ジャーニー・トゥ・フォーエバー」にて、有機菜園や鴨たちを育て、手づくりバイオディーゼル燃料でワゴン車の燃料を自給。現在は京都市に移り、持続可能な食とエネルギー問題に取り組んでいます。今年9月よりロンドン市立大学食料政策センターの大学院に進学予定。

緑の情報サイト ～持続可能な食とエネルギー

<http://midori.info/>



■主催・連絡先： ATTAC 京都

ATTAC 京都 HP

<http://kattac.talktank.net/>

ATTAC 京都ブログ

<http://kyotoblog.attac.jp>

E-mail アドレス

[kyoto@attac.jp](mailto:kyoto@attac.jp)

■協賛：ジュビリー関西ネットワーク

[http://d.hatena.ne.jp/Jubilee\\_Kansai/](http://d.hatena.ne.jp/Jubilee_Kansai/)

